

山陽乳業(株)の復興再建を懸念 地域全体で良質乳出荷を目指す



甲奴郡酪農組合(組合長 道田稔弘、組合員十六名)は、平成三十年通常総会を開催した。実出席は十一名、委任状による出席三名の合計十四名の出席をもって、総会は有効成立し、提出議案全てを可決承認した。

道田組合長からは「昨年の豪雨によって、山陽乳業(株)への生乳出荷が出来なくなり、生協との交流会も中止になった」と振り返り、来賓の岩竹重城組合長(広酪)からは「山陽乳業(株)が五ヶ月の製造休止以後、再開したものの販売は戻っていない」と依然として厳しい経営状況が伝えられた。

この他、組合長からは、「中国生乳販連の乳価交渉は1kgあたり七・五円以上の要求に対して四円の値上げになった。結果として、要求した学乳向けと生クリームは据え置きとなり、実質三・四八円の値上げ。これに中国生乳販連では、送乳・集乳運賃、CS経費として〇・六円の負担、広酪の集乳運賃と受託販売手数料〇・七円の負担をお願いし、差引手取乳価は約二・一八円となる見込み。県域JA合併の検討も行っていく予定」と、組合員の理解と協力を求め祝辞を述べた。

最後に乳質向上に全員で努力することを確認し、前年度に乳成分・体細胞数・生菌数の全ての基準未達成が年間を通して五回以内(九名)、若しくは前年度の基準未達成回数(二分の一以内)に半減(五名)、三年連続で乳量が増加(二名)、乳量が増加(五名)、(七名)の合計二十三名が表彰された。

総会終了後の親睦会では、家族も出席されて、池田牧場導入の搾乳ロボットも話題となつて、終始和やかな年初めの会となった。

乳価値上げから 経営移譲による 若さと活力に期待



庄原地域酪農振興会(会長 赤木 靖)は、新年会を開催し、会員及び庄原市を含め二十名の参加があった。

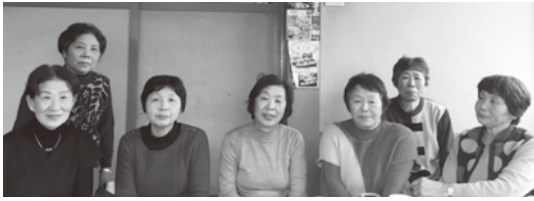
広酪からは、岩竹重城組合長の他、和田千順係長(生産振興課)と名越道弘主任(生産振興課)が参加した。

開会にあたって、赤木会長からは「乳価がひとまずは上がって良かった。今年も元気に頑張らましよう」と挨拶され、続いて、来賓の岩竹組合長からは、平成三十一年度の乳価交渉の結果や平成三十一年度生乳受託販売に係る経費負担・格差金テーブルの設定等を含めた酪農情勢を説明し、新年を祝った。

また、このほど広酪リンカルのリニューアルに伴い、製造元「東洋電化工業株式会社」の担当者から「今回の広酪リンカル3では、リン過剰を抑えたカルシウムの増量・軽質炭カルによる吸収性・ペプチドミネラル配合による生体内利用率向上の三つがポイント」と、その魅力をPRし推進した。

庄原地域では今年から経営移譲により新スタートを切られた若い会員も多く、先輩方から「これから楽しみだ」という期待とともにエールが送られ、和やかな雰囲気の中で地域情報や飼養管理等の情報交換が行われた。

今年の旅行先は山口県 ほほえみ会総会



三次地域の酪農女性グループ「ほほえみ会(会長 橋本加代美)」は、平成三十年総会を開催し、OGを含め七名の他、広酪からは高松むつみ課長(経営支援課)が出席した。

橋本会長からは「多くのOGの方の協力を得て、無事に事業を行うことができました。感謝しています」と挨拶され、平成三十年の事業報告が行われた。

総会を経て、平成三十一年の会長には西平芳美さんが選任され、事業計画に掲げる親睦旅行を四月上旬、旅行先は山口県と決定された。

高松課長からは、広酪地区懇談会の資料に基づき、上期決算状況や平成三十一年度乳価、格差金財源の使途変更等の説明を行った。

その後は、食事を囲み、和やかな雰囲気の中で互いの近況等を交えて女子トークに花が咲き、あつという間の時間が過ぎた。

ほほえみ会

一月二十五日 三次市・さざん亭

新代表・檜高侑佑氏選任 平成30年度通常総会



一月二十二日 かんぽの郷しようばら

広酪ホルスタイン改良同志会中部支部(代表 和田慎吾)は、平成三十年通常総会を開催し、会員十二名の出席があった。

協議事項は①平成三十年度事業報告並びに収支実績報告、②平成三十一年度事業計画並びに収支予算案、③役員改選で、全て可決承認された。

新代表には檜高侑佑氏(三次市)、新監事には向田修実氏(庄原市)が選任され、終了後の懇親会では、若いメンバーも参加して、日頃の飼養管理や乳牛改良の話題に花が咲き、和やかな意見交換の場となった。

改良同志会中部支部

ひろらく女性グループ連絡協議会

酪女の皆様へ

3/19 講演会 & 交流会のご案内

参加申込期限:平成31年2月28日

講師にジャーナリスト 笹井恵里子さんをお迎えします
演題「老けないカラダづくり - "乳製品の最先端(仮称)"」

ひろらく女性グループ連絡協議会(委員長 市川美智子)は、下記日程で講演会 & 交流会を開催しますので、酪農女性の皆様、今すぐスケジュール手帳に予定をご記入戴くとともに、参加申し込みは、当協議会事務局(広酪経営支援課)宛てにお願いします。

講演会講師には、今年5月9日発売の週刊文春で「老けない牛乳は鳥取にあり」を執筆されておりますフリーランスのジャーナリスト 笹井恵里子さんをお迎えします。

講演会終了後は、恒例のコース料理に舌鼓しながら酪農女性によるおしゃべりで楽しんで戴く交流会も行います。これら日程等の詳細は、既に封書郵便にてご案内のとおりです。

また、今回も出来るだけ多くの方にご参加頂けますよう三次市の支援事業「ほっとママ」の協力を得まして、小さなお子様をお預かりするよう準備も致します。



- 日 時:平成31年3月19日(火) 午前11時受付・午後3時終了
- 場 所:グランラッセレ三次(平安閣)
〒728-0014 広島県三次市十日市南一丁目5-5 TEL:0824-62-1234
- 講演会: 演題 老けないカラダづくり - "乳製品の最先端(仮称)"
講師 フリーランスのジャーナリスト 笹井恵里子さん
- 参加費 1,000円/人 (就学前のお子様は無料です)

(プロフィール)

- ・1978年生まれ・立命館大学中退
- ・「サンデー毎日」(毎日新聞出版)の記者を経て、2017年12月よりフリーランスのジャーナリスト
- ・現在は、「週刊文春」を中心に、医療、健康問題等について取材執筆活動
- ・著書には「週刊文春老けない最強食」(11月22日、TSSプライムニュースで紹介)「不可能とは、可能性だ。パラリンピック金メダリスト新田佳浩の挑戦」